

科研費が 変わります

審査システムが 変わります



- これまでの「分科細目表」を廃止し、新たに「審査区分表」を作成します
- 432の審査区分（基盤研究C）が306の小区分に減少することで、より広い範囲での審査になります

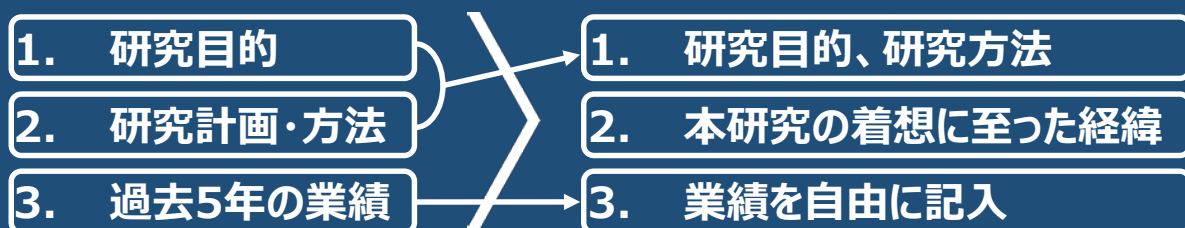
研究種目・枠組みが 見直されます



- 若手研究Aが廃止されます
- 若手研究の応募要件は博士取得後8年未満の者に変更されます（現行39歳以下）

応募書類(研究計画調書)が 変わります

(新しい調書は9月頃に公開されるので、以下は変更することがあります)



- 「目的」と「方法」が一つの項目になり、「着想に至った経緯」が独立した項目になります
- 『本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす「問い」について具体的かつ明確に記述してください』と書かれており、なぜあなたがその研究を行っているか？ に対する明確な回答を記述しなくてはなりません
- 過去5年に限った業績の記述を改め、業績を過去にさかのぼって自由に記入できます
- 枠線・罫線がなくなります
- 電子申請システムでの入力項目が増えます

詳しくはWebで

埼玉大学URAオフィス

検索

<http://ura.saitama-u.ac.jp/>